

1. SDGs の基礎知識

④SDGs の全体像

SDGs とは、2030 年までに地球と人類が目指すべき 17 個の目標のことです。

SDGs の 17 ゴールには、それぞれより詳細なターゲットが定められており、全体で 169 個あります。



上記のシンボルマークを目にしたことがある人は多いでしょう。しかし SDGs の意味を理解している人は多くはありません。SDGs は世界で持続可能にするための要素を定義しており、逆をいうと今の世界は持続可能ではないといえます。

SDGs の全体を大枠で理解しよう

明確に定められているわけではありませんが、SDGs のゴールの上段・中段・下段に分けて全体を大枠で確認していきます。

(1) 上段 目標 1～6

貧困・飢餓・教育不足などの問題は発展途上国が中心になりますが、貧困・健康や福祉・ジェンダー平等などの問題は、日本でも起きていることなので、皆さんにも無関係ではありません。主として、人間の社会に関連する内容となっています。

(2) 中段 目標7～12

経済・社会・環境問題で、先進国にも関わるものや企業が取り組むべき課題が多く設定されています。

(3) 下段段 目標13～17

グローバルな課題が多く設定されています。自国ファースト（自国最優先）の考えではなく、地球規模で考え、地球規模で行動しなければなりません。

SDGs を個人でできるゴールに変換しよう

いきなり個人で、地球や人類、経済や社会・環境問題について考えろというのは難しいでしょう。私も何をしたらいいのか分からないです。

では、下記のように17のゴールを個人でできるミニゴールに変換してみたいかがでしようか。簡単にできるアクションの例をいくつかあげていきます。

- ① 貧困をなくそう ⇒ コンビニで募金しよう
- ② 飢餓をゼロに ⇒ 賞味期限をよく見て買い物を
- ③ すべての人に健康と福祉を ⇒ 手洗いやうがいの予防対策を
- ④ 質の高い教育をみんなに ⇒ 専門の知識や経験を無償で提供しよう
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう ⇒ 妊婦に席を譲ろう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に ⇒ 油や牛乳は排水溝に流さないように
- ⑦ エネルギーをみんなに、そしてクリーンに ⇒ スイッチをまめに切ろう
- ⑧ 働きがいも経済成長も ⇒ 会う人にしっかり挨拶しよう
- ⑨ 産業と技術革新の基礎をつくろう ⇒ アイデアを形に
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう ⇒ 外国人にこちらから話しかけよう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを ⇒ 旅行で他の土地の良さを知ろう
- ⑫ つくる責任・つかう責任 ⇒ ペットボトルは洗って捨てよう
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を ⇒ 環境へ配慮した製品か確認して購入
- ⑭ 海の豊かさを守ろう ⇒ 海や川へ行ったらゴミ拾いをしよう
- ⑮ 陸の豊かさも守ろう ⇒ ハンカチを持ち、ペーパータオルは使わない
- ⑯ 平和と公平をすべての人に ⇒ 投票しに行こう
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう ⇒ 面白いことを友達にシェア

SDGs の 17 ゴールは、一つひとつは大きな目標です。しかし、個人でできることに変換していくと、明日からでもできる目標になります。自分なりのミニゴールを設定して取り組みましょう。

まとめ

少しでも SDGs を意識すると、普段何気にやっていたことも意味があることのように感じられてきます。個人のミニゴールを設定することで、SDGs を自分事に考えられるようになります。

こうした一人ひとりの実感や理解が、会社単位になり、国単位になり、地球全体に繋がっていきます。まずは SDGs の全体像を理解し、それぞれの目標の理解に繋げましょう。

<執筆者> 株式会社 吉岡経営センター
コンサルティング部 橋本 直紘

<プロフィール>

建設業・製造業など中小企業を中心に「人事制度改定」のコンサルティングを担当。